

## 星つむぎの村のプラネタリウム 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

### 1 感染防止の基本的な考え方

「三つの密」のある場では、感染を拡大させるリスクが高いと考えられ、こうした環境の発生を極力防止するなど、実施者・観覧車が相互に感染対策に取り組みます。

＜三つの密＞

- ① 密閉空間（換気の悪い密閉空間である）
- ② 密集場所（多くの人が密集している）
- ③ 密接場面（お互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）

### 2 実施者（職員）の感染予防対策について

#### ◆観覧者数の制限等

・密集、密接にならないように、1回の投映の定員を制限します。（実施環境によって異なります）

・学校、幼稚園、保育園投映については、1クラスごとの投映を推奨します。

#### ◆運用上の感染予防対策

・投映と投映の間隔をあげるように、スケジュール調整を行います。  
・投映終了ごとに、使用した機材等の消毒を行います。フライングプラネタリウムの場合は、発送前に機材及び外箱の消毒を行います。

・投映後は入場扉を開放し、ドーム内の換気を行います。

・ドームまたは室内に空間除菌装置を設置するとともに、サーキュレーターや排気ファンなどを利用し換気量を確保します。

・会場入り口にアルコール消毒液を設置し、手指の消毒を徹底します。

・会場入り口での体温チェックを行い、発熱者（37.5℃以上）には入場をお断りします。

・団体での観覧時は、消毒・体調チェックの徹底を依頼します。

・観覧者には原則としてマスク着用をお願いします。

・打合せは電話で行い、当日会場での打ち合わせも十分な間隔を取って行います。

#### ◆職員の感染予防対策

・職員は、咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒を徹底します。

・職員は、社会的距離の確保に努めます。

・職員は、次の症状に該当する場合、出勤を控え、職場内の感染防止に努めます。

検温の結果、37.5度以上の発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁、鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐

### 3 観覧者の感染防止対策について

・発熱等の症状があるなど体調に不安がある場合は、入場を控えていただきます。

・観覧の際にはマスクの着用をお願いします。

・入場前には手指の洗浄をお願いします。

・配布物については、手渡しによる配布をさけ、入館者が自ら取るようお願いいたします。

・ドーム及び会場内では、対人距離を空けて座るようお願いいたします。

・打ち合わせ時において、以下の事項の周知を図ります。

➢ 咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒の徹底

➢ 社会的距離の確保の徹底

➢ 次の症状に該当する場合、観覧を控えること。

咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁、鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐